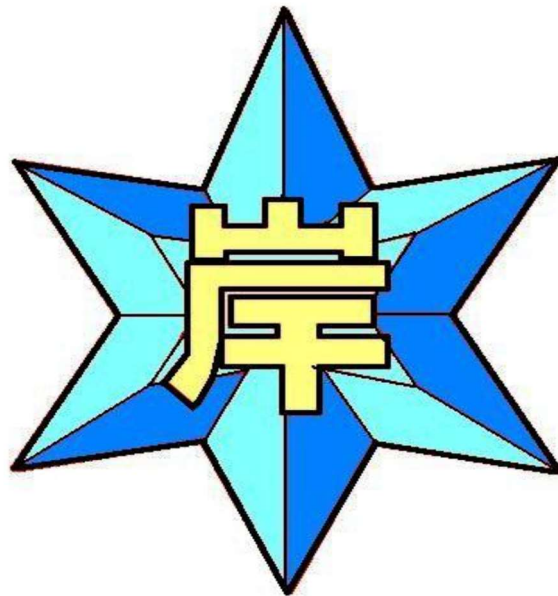


学習の手引き

ご家庭で保管し、ご活用ください。

令和6年度



岸和田市立岸城中学校

知・徳・体、調和のとれた人間の育成

～一人ひとりが輝く学校づくり～

※学校いじめ防止基本方針は本校ホームページに記載しています。

岸和田市立岸城中学校

(所在地) 〒596-0076 岸和田市野田町2丁目19番19号

(電話番号) TEL: 422-2401 FAX: 422-2486

(HP) <http://kishiki-j.kishiwada.ed.jp/>

●学習について

【国語科について】

○教科について

国語科は、この世界に存在する（しない）様々な物や考えを、日本語という言葉を使って、どのように理解し、どのように表現するのかを学ぶ教科です。したがって、国語科で手に入れた力は、他の全ての教科に結びつきます。実際に、どの教科のテストにおいても、問題文を読み、問われていることの意味をつかむところから始まります。そして、その力は、日常生活や社会生活においても、常に必要とされます。つまり、国語科の授業で鍛えられる力は、君たちが将来、どのような仕事に就いたとしても、必要とされる力なのです。さあ、国語科で、「話す力」・「聞く力」・「書く力」・「読む力」・「言葉に関する知識」を身につけていきましょう。

○家庭での学習方法

- ・予習：教科書の本文を読みます。そして、おおよその内容をつかんでおきます。次に、知らない漢字の読みや意味を調べておきます。
- ・復習：ノートに書いた内容を、授業の様子を思い出しながら、音読しましょう。新しく習った漢字を覚えるまで、繰り返し練習しましょう。その際、「学習した日の夜、次の日、一週間後、二週間後」と4回、復習するのが、記憶を定着させるのに有効です。

○テスト前のアドバイス

- ・提出物を、もう一度チェックしましょう。
- ・テスト範囲の漢字・文法・ワーク・プリントをしっかりと学習しましょう。
- ・疑問点が出てきたら、テストまでに先生に聞きましょう。

【社会科について】

○教科について

わたしたちがくらす社会を「地理」、「歴史」、「公民」の三分野から学びます。ひとつのものごとをいろんな方向から見て、いろんな考え方ができれば、今までの世界が変わって見えるかもしれません！「多様性を理解する」（いろんな立場、考え方、人権、国境…）ことと「新しいものをつくり出す」（今よりもっと進化したもの、しくみ、アイデア…）こと。これからの未来をつくっていくみなさんとぜひとも一緒に勉強していきたいことです。

○家庭での学習方法

- ・教科書に出てくる言葉がたくさんあるので、「自習ノート」などを活用して語句の意味を調べておきましょう。授業の予習になります。
- ・また、社会で起きていることやニュースにも関心をもってください。

○テスト前のアドバイス

- ・たくさん覚えなければならないことがある社会科の一番のテスト勉強は、誰かに「教える」ことです。お家の人、兄弟などに授業をしてみましょ。間違えば教えてくれますし、暗記するよりも頭に入り、だんだん自信がついてきます。ほんの一部、苦手なところから始めましょ。
- ・何よりも大切なのは普段の授業を大事にすることです。その姿勢も評価されますよ。

【数学科について】

○教科について

- ・小学校の算数よりもより深くなり、計算も複雑になります。
- ・授業をよく聞いて、まずその場で理解する。それを、家に帰ってからもう一度、ワークを使って復習するのが大切です。

○家庭での学習方法

- ・復習が何よりも大切です。

復習の仕方・テスト前の取り組み方法

- ①授業で習ったところのワークの問題を解く。○を付けて間違ったところはやり直す。
(※間違ったところは後で見てもわかるようにしておく。)
- ②テスト 2 週間前に、もう一度ワークの問題を解き、間違った問題をチェックしておく。
- ③テスト 1 週間前には、間違った問題だけをもう一度解き直す。

どの教科でも同じですが、テスト前だけ勉強して OK な教科ではありません。
毎日少しずつの積み重ねが、成果につながります。
テスト前だけ勉強するのではなく、コツコツ頑張ろう！

【理科について】

○教科について

日常生活の中に、理科に関わりのある事象はあららこららに散らばっています。

中学校では、4つの分野に分かれています。

生命・・・植物、動物、生命の連続性 地球・・・地震、火山の噴火、天気の変化、天体
物質・・・身の回りの物質、化学変化とイオン エネルギー・・・力、光、音 電流の正体、運動
「あれっ?」「どうして?」という興味・好奇心を持って身の回りを見渡して見てください。

例えば・・・桜はなぜ春にしか、咲かないのか。地震が起きたとき早く知る方法はないのか?

ダイヤモンドは作れないのか? 花火が見えてから音が後から聞こえるのはなぜだろう。

いろんなことに不思議に思ったり、興味を持つことが、きっと膨らんでいくと思います。そんな興味や関心を解決したり、学んだりして、さらに深めて知ることを一緒にやっていきましょう。

*学習の基本は、学校の授業です。授業に真剣に取り組もう。説明を聞くことが第一です。

○家庭での学習方法

家庭での学習は、復習中心にしましょう。授業があった日に、授業のプリントやノートを見直し、学校でもらった問題集を活用しよう。また、疑問点、質問は次の授業で必ず聞こう。

○テスト前のアドバイス

- ①授業で使ったプリントや、ノート、教科書の重要語句や図、グラフを中心に理解しよう。
- ②問題集や白プリントは暗記するほど繰り返そう。何度も見直しをして、わからないところは必ず聞きましよう。

【音楽科について】

○教科について

- ・音楽のよさや楽しさを感じ、学校を卒業したあとも音楽に親しめるよう、音楽への関心・鑑賞の力・音楽表現の力をつけること、また集団での音楽活動をとおして仲間づくりをすることを目標としています。
- ・器楽実技として、アルトリコーダー、クラシックギター、三線、箏などの実技を行います。
- ・合唱コンクールにむけて、クラス合唱を行います。

○家庭での学習方法

- ・授業で行った内容の復習を行うこと。
- ・アルトリコーダー等の演奏練習を行うこと。家庭で実際に音を出して練習することが難しい場合は、音を出さずに指使いの練習をするだけでも効果あります。

○テスト前のアドバイス

- ・授業で学習した内容、配布されたプリントをしっかりと見直しておくこと。
- ・提出物をしあげ、期日までにきちんと提出すること。
- ・筆記テストだけでなく、実技テストも頑張ること。

【美術科について】

○教科について

教科書や資料集、プリントなどを使い絵画と彫刻、デザイン、工芸の4分野について学びます。また絵具や色鉛筆などを使って色の特性についての学習、ハサミやカッターナイフなどの道具を使って作品を作ったりします。完成した作品を鑑賞することでそれぞれの個性を大切にし、その個性を伸ばすことを目標としています。

○家庭での学習方法

授業や課題プリントで学習したことを振り返り復習すること。
時間と道具があれば一度作った作品を家庭でも作ってもよい。

○テスト前のアドバイス

授業や課題プリントで学習したことを振り返り復習すること。
作品やプリント、ファイル提出などがあれば時間と締め切り日をきちんと守ること。

【保健体育科について】

○教科について

- ・男女別で、保健と体育とそれぞれに分けて授業を行っています。
- ・小学校で学習した基本的な内容を発展させ、よりレベルアップした内容を学習しています。
- ・柔道やダンスなど、中学校から学ぶ学習があります。
- ・日常生活や生きていくうえで、必要な基礎的な学習を保健で行います。

○家庭での学習方法

- ・授業で行っている体育分野についてルールなどをきちんと理解するよう努める。
- ・保健分野は日常生活と関連している部分も多いので、関連付けて学習しておくこと。
- ・定期的な運動習慣を確保する。

○テスト前のアドバイス

- ①体育分野、保健分野ともに授業で学習した内容をプリントでしっかりと見直しておくこと。
- ②保体資料ノートをきちんと解しておく。
- ③テスト対策プリントなどから出題されることが多いので、何度も解しておくこと。
- ④ファイルや保体資料ノートなどの提出物は期日までに必ず提出すること。

【技術科について】

○教科について

材料と加工、生物育成、エネルギー変換、情報に関する技術の4分野を3年間で学習します。教室だけではなく実習室でも行います。のこぎりやはんだごでなどの工具を使用し実技授業の中でのものづくりの楽しさや今からの技術の発展や身の回りの技術について学習していきます。

○家庭での学習方法

教科書と授業プリントを見て、内容を深めよう！

○テスト前のアドバイス

初めて聞く言葉や実技の内容が多いと思います。授業の際に詳しく説明していたところ、実技の内容をメモを取り確認しておきましょう。

【家庭科について】

○教科について

生活をより良く快適に過ごすための知識・能力・技術等を学びます。学生が終わり社会人になっても活用できる、生活するための知恵袋を伝えたいと考えています。そして、そこからさらに自分なりに創意工夫して生活を楽しんでほしいと願っています。以下の3つの力をつける学習をします。

将来の自立にむけて 「身の回りのことが自分でできる力」

家族の一員として 「家事の分担を積極的に行える力」

地域、地球の一員として「地域、地球の環境をよくするために行動できる力」

○家庭での学習方法

- ・身の回りのことは、できるだけ自分でしましょう。
- ・家事のお手伝いを積極的に行いましょう。
- ・地域、地球にやさしい行動をとりましょう。

○テスト前のアドバイス

- ① 授業は週1回(3年生は2週間に1回)、テストも学期に1回しかありません。課題や作品作りも授業中に集中してやり終えることを目標にしましょう。
- ② テスト前は教科書やプリント等をしっかり読み返し、どんなことを学習したか復習し、ポイントは覚えておきましょう。
何よりも大切なのは普段の授業を大事にすることです。その姿勢も評価します。

【英語科について】

○教科について

- ・小学校の活動をふまえて、文法をより詳しく勉強します。使う単語の量もぐっと増えます。
- ・「読む」「書く」以外にも「聞く」「話す」という分野があります。
- ・とにかく授業が一番大切です。授業にいかに集中できるかが、家庭学習にもつながります。

○家庭での学習方法

- ・予習よりも復習に時間をかけましょう。
- ・習った単語や文法は少しずつでも確実に覚えていくことが大切です。
(テスト前に一度にたくさん覚えるのは大変ですし、覚えたとしてもすぐに忘れてしまいます)
- ・教科書の音読や暗唱は英語力アップに効果的です。
- ・英語が苦手な人は、英語の音楽を聴いたり映画を見たり、たくさん英語に触れる時間をつくってみるのもいいです。

○テスト前のアドバイス

- ・ワークに丁寧に取り組んで下さい。仕上げて終わりではなく、間違いなおしに時間をかけることが得点アップの近道です。
- ・単語は確実に覚えるまで書く練習をしましょう。

●テストについて



☆定期テスト（中間テスト、期末テスト）について

どんな準備をすればよいの？

定期テストは、日頃の授業の内容をどれくらい理解できているか調べるためのもの。まずは、日頃の授業をしっかり受けること。ノートをきちんととり、わからないところを復習してできるだけ無くしておくのとテスト準備が楽になります。

①テスト範囲をしっかり確認すること。

教科書は何ページから何ページまでか？問題集のどこが範囲か？その他、プリントなどはないか？などしっかり確認する。

②テストの時間割に合わせて、勉強の計画を立てる。

思いつくままに勉強をしても、範囲を終われなかったり、無駄な時間が多くなったりとしっかり準備できないことがほとんど。範囲の多い少ないや自分の理解度など考えて、計画的に準備を進めること。

実際にどんなふうに勉強をしたらよいのか？

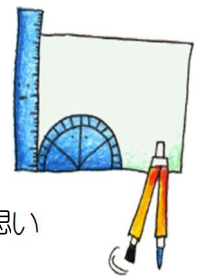
①教科書や授業でとったノートをしっかり読み返すこと。

授業の中身は教科書が基本。その内容をまとめたのが授業のノート。しっかり読み返して、どんなことを学習したのか思い出す、忘れていた内容を思い出すことがまず大切なこと。できれば、自分でまとめたりするとさらにGOOD。

②問題集で実際に問題を解く。

内容が理解できた（と思った）ら、実際に問題を解いてみる。わかったと思っても意外と問題を解いてみるとできないことも多い。あきらめずにもう一度どうして間違えたか、どこがおかしかったのか…、など、教科書・ノート・解答などで調べて理解しておく。

これを何度も繰り返すことで、わからなかったところがわかるようになり、自分の弱点もはっきりしてくる。こう書くと簡単そうだがなかなか難しい。いやになったり、どうしてもわからなかったり…。そんなときは、友達や先生に質問して解決するのが近道！



☆学力診断テストについて

学力診断テストは、どのくらいの実力を身につけているかを知るためのテスト。範囲も広く、短期間で準備することはむずかしい。もちろんテスト前に準備をするのは大切だけど、日頃からの努力がものをいうテストともいえる。3年生では高校選択の資料にもなる大切なテストです。

☆テスト中の携帯電話の取り扱いについて

朝の HR で担任に預けていただき、携帯電話を所持していることのないようにお願いします。

- ・テスト中、着信音等が聞こえた場合、指導し、預からせていただきます。その後、家庭連絡し、保護者の方に取りに来ていただきます。使用していない場合でも、見つけたら同様の指導を行います。

- ・身につけている、カバンの中で鳴っているに関わらず、その教科は0点とします。

また、携帯所持が発覚した時間より前のテストに関しては、状況を確認して判断します。

●評価について

公立高等学校入学者選抜の「調査書」における評価について、目標準拠評価（いわゆる絶対評価）が導入されています。

目標準拠評価は、学習指導要領に示す目標に照らし、生徒一人一人の実現状況を評価する方法です。各教科の評価方法を下記のように提示させていただきます。

各教科の観点は、「主体的に学習に取り組む態度」・「思考・判断・表現」・「知識・技能」の3観点に統一されています。また、観点別の学習状況は、A(十分満足できる)・B(おおむね満足できる)・C(努力を要する)の3段階で評価されます。

【国語】

主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	知識・技能
授業プリント(ノート)・提出物・授業態度	定期テスト・学力診断テスト・授業プリント・提出物・スピーチなど	定期テスト・学力診断テスト・小テスト

【社会】

主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	知識・技能
授業プリント・提出物・ワーク・小テスト・ワークシート・授業態度	定期テスト・学力診断テスト・授業プリント・提出物・小テスト・ワークシート	定期テスト・学力診断テスト・提出物・小テスト・ワークシート

【数学】

主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	知識・技能
プリント・ノート・ワーク・小テスト・授業態度・ふりかえり	定期テスト・学力診断テスト・小テスト・行動観察	定期テスト・学力診断テスト・小テスト・行動観察

【理科】

主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	知識・技能
授業態度・提出物・単元別テスト・自由研究	定期テスト・単元別テスト・自由研究	定期テスト・単元別テスト・自由研究

【音楽】

主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	知識・技能
ワークシート・提出物・レポート・授業態度・実技テスト自己評価	定期テスト・実技テスト・ワークシート・行動観察	定期テスト・実技テスト・ワークシート

【美術】

主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	知識・技能
対話・製作途中の作品・レポート・ふりかえりシート・提出物・授業態度	定期テスト・作品の下書き・作品・実技テスト	定期テスト・作品の下書き・作品・実技テスト

【保健体育】

主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	知識・技能
出席・授業態度・ラジオ体操・提出物	定期テスト・ワークシート(プリント)・ふりかえりシート・提出物	定期テスト・実技テスト

【技術】

主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	知識・技能
提出物・授業態度	定期テスト・提出物・作品	定期テスト・提出物・実技・作品

【家庭】

主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	知識・技能
提出物・授業態度・ふりかえり	定期テスト・ワークシート(プリント)・作品(実技)・提出物	定期テスト・ワークシート(プリント)・作品(実技)・提出物

【外国語(英語)】

主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	知識・技能
プリント・ノート・ワーク・パフォーマンステスト・授業態度・ふりかえりシート・can-doリスト	定期テスト・学力診断テスト・パフォーマンステスト・プリント	定期テスト・学力診断テスト・小テスト・パフォーマンステスト

●観点別評価を総括し、5段階で評定をつけます。

5:「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるもの

4:「十分満足できる」状況と判断されるもの

3:「おおむね満足できる」状況と判断されるもの

2:「努力を要する」状況と判断されるもの

1:「一層努力を要する」状況と判断されるもの

【道徳】

●評価の方法について

学習状況や道徳性にかかる成長の様子を、記述式で、年に一度、三学期に評価する。その評価の手段として、授業への意欲・態度などの姿勢、授業での発表や活動、ワークシートへの記入や感想文などを用い、総合的に判断する。

評定	対応表
5	AAA AAB ABB
4	AAB AAC ABB BBB
3	AAB AAC ABB BBB ABC BBC ACC BCC
2	BCC BBB ABC BBC ACC
1	BCC CCC